

平成23年度第2回全学研究推進機構セミナーのご案内

全学研究推進機構では、下記のとおりセミナーを開催いたします。

講師：刀祢重信 先生

川崎医科大学生化学教室 准教授

演題名：プログラムされた細胞死のシナリオを読み解く

死のシグナルから実行まで

日時：平成24年2月10日（金）17時00分～18時30分

場所：挾間キャンパス基礎臨床研究棟1F会議室

刀祢先生は遺伝子導入マウスの作出に日本で初めて成功するなど、初期胚の発生生物学に分子生物学の手法を取り入れた先駆的な研究で知られています。また、「アポトーシス」という言葉がまだない頃からニワトリ胚の水かきが「プログラム細胞死」をおこすことに注目され、現在まで研究を続けられておられます。

本セミナーでは、

- 1：アポトーシスの際に起こる核の凝縮メカニズムの解明
- 2：修復するはずの遺伝子が実は殺し屋だった！！（修復系遺伝子がロックアウトされた細胞で起きるアポトーシスできない現象）

についてご講演いただきます。



刀祢先生の最近の著書です

セミナーに関するお問い合わせは、実験実習機器部門まで

担当 助教 酒井久美子

内線 6215 メール kumi@oita-u.ac.jp